

高大接続での学びをどう大学に繋げていくか

近年、高校生の学習に大学が関わる場面が増えていきます。高校の正課授業の「総合的な探究の時間」での大学の協力や、大学独自プログラムへの高校生の個人的な参加などです。校内、校外の学習活動を通じて、高校生の多様な資質・能力や興味・関心を伸ばすことは、高校、大学にとっての課題となっています。このことと相互に関連し合いながら、大学では、入試に多面的・総合的評価を取り入れ、多様な資質・能力を有する学生を確保することが課題とされています。

本ミニセミナーでは、こうした高大接続領域の課題

のうち、高校生が、教科学力のみにとられることなく、大学での学修や研究にマッチした資質・能力を育めるような教育プログラムの実践事例を紹介します。そのうえで、高校生が大学をめざす場面で、どの様な高大接続があると良いのかを、登壇者の皆様で話し合っていきたいと思います。高校、大学それぞれによる事例を紹介しますので、ご参加いただく皆様の所属組織に応じて高大接続教育の開発の参考にさせていただけるものと期待しております。

多数のご参加をお待ちしています。

2025年
8/25(月)
15:00~16:30



【参加費】 無料

【実施形態】 オンライン (Zoomウェビナー)

【対象】 大学入試の企画・業務に携わる教職員
関心を持つ高校・大学の教職員の方々

【申込期限】 2025年8月21日 (木)

【申込方法】 上記の二次元コードまたは下記のアドレスよりお申し込みください。

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/event/j-bridge/>

※Zoomでライブ配信を行います。

配信当日までに、お申し込みいただいたメールアドレス宛に視聴URLをお知らせいたします。

※ご視聴の端末ごとにお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には、後日アーカイブ動画（一部プログラムを除く）をご案内いたします。当日の視聴が難しい方、途中までしかご視聴いただけない方も是非お申し込みください。

【お問い合わせ先】 学校法人河合塾 教育研究開発部

【e-mail】 j-bridge-system@kawai-juku.ac.jp

【受付時間】 10:00~17:00 (土・日曜・祝日を除く)

経済・社会環境の急速な変化、2035年には100万人を割り込むことが見込まれる18歳人口の減少、文部科学省からの要請などを背景に、大学入学者選抜は大きな転換期を迎えつつあります。そして選抜方法については、教科学力に重きを置いた仕組みから、教育改革同様に学力の三要素を踏まえた多面的・総合的な評価を行える仕組みへと移行しつつあります。

河合塾では2022年度から、大学入学者選抜改革についての基本セミナーを実施してきました。それに加え、2025年度から、入試での多面的・総合的評価を支援するため、大学を取り巻くさまざまな課題とその解決のためのヒントや、タイムリーなテーマをお届けする「ミニセミナー」を開催しています。

| プログラム | |
|-------|---|
| 14:50 | 入室開始 |
| 15:00 | 開会挨拶 |
| 15:05 | 【事例紹介】 ● 芝浦工業大学柏中学高等学校 SSキャリア開発講座 ● 佐賀大学 継続・育成型高大連携カリキュラムとびらプロジェクト ● 東京都市大学 探究ゼミナール OPEN MISSION |
| 15:50 | パネルディスカッション |
| 16:15 | J-Bridge Systemご紹介 |
| 16:30 | 閉会挨拶 |

登壇者紹介



高澤 良輔 先生

芝浦工業大学柏中学高等学校
SSH統括室・国語科教諭



西郡 大 先生

佐賀大学
理事 (教育・学生担当) 副学長
アドミッションセンター長



村上 守 様

東京都市大学
大学教学局 入試部入試課 課長

※プログラムは予定です。内容や進行を一部変更することがございます。